平成24年度

事務事業評価調書

整理番号 2 - 17

平成23年度実施

作成年月日 H24. 7. 23

事務事業名 老人クラブ育成事業

事業区分 継続
 新規事業開始年度 平成20年度 住民参加 有 関係例規：法令名事業終了年度 平成24年度 住民協働 無 関係個別計画名 興部町高齢者福祉計画

会計区分 一般会計 款 3. 民生費 項 1. 社会福祉費 目 2. 老人福祉費

担当課 福祉保健課 担当係名 高齢者福祉係 調書作成者職氏名 係長 山田隆敏

【第五期興部町総合計画】 登載事業 非登載事業 実施計画登載No 94

分類	コード	名 称
基本目標	3	生涯を支える“まちづくり”
施策項目	17	高齢者福祉の推進
単位施策	1	健康と生きがい対策の推進

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部町老人クラブ連合会、町内8単位老人クラブ
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 興部町老人クラブ連合会運営費補助、単位老人クラブ運営費補助
(3) 【事業の成果】 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 高齢者が老人クラブなどの交流や研修を通して、健康で楽しく、生きがいのある生活をおくる。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値	人					
			実績値						
2	活動指標		目標値	回					
			実績値						
3	成果指標		目標値	千円					
			実績値						
4			目標値						
			実績値						

III. 事業費の推移

(単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20~24年度 合 計
事業費(千円)	694	694	654	654	694	654	3,350
財源内訳	国庫支出金						0
	道支出金	343	342	339	296	290	1,557
	地方債						0
	その他						0
	一般財源	351	352	315	358	404	1,793

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	高齢者の情報交換の場でもあり、町の各種事業についての連絡や意見交換等が実施しやすい。 会員の元気につながり、医療費抑制、家事など労力奉仕、地域への貢献につながっている。 国民年金受給者が大半で、縮小すると個人負担の割合が高くなり、支障が出る。 新規加入が少なくなってきたが、概ね予定の事業は実施されている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☐ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	

特記事項
※H21年度から集中管理の光熱水費、通信運搬費は除いています。

V. 一次評価（所管課）、二次評価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評価選択理由 / 今後の方向性
一次評価	継 続 【現状維持】	運営費を補助することで、元気な高齢者がいつまでも活発に活動してもらえるのは、高齢者の孤立化の防止や安否確認にもなり、何よりありがたいこと。
二次評価	/	二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評価選択理由 / 今後の方向性

☆ 評 価

(1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
(2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
(3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
(4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの | (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
(6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
(7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの |
|--|--|